

9月の政治・経済イベント

重要 01 世界各国で猛威を振るう新型コロナウイルス変異株

欧米では新型コロナウイルスに伴う行動制限の解除やワクチン接種が進み、旅行や飲食などのサービス需要が回復をみせる一方、足元では変異株による感染再拡大が問題となっています。ワクチン接種が進んでいない東南アジアでは変異株が猛威を振るっており、一部の国では感染予防のために半導体や自動車部品の工場が閉鎖され、世界的に供給遅延が生じています。米国では雇用が回復し、大規模インフラ投資法案も可決、景気回復期待が進んでいる一方、変異株の動向には注意が必要です。


重要 02 感染深刻化も、衆院選・自民党総裁選による株価上昇に期待

日本では5日、連日盛況をみせた東京2020五輪・パラリンピックが閉会を迎えます。大会は概ね無観客で開催されたものの、足元では新型コロナの感染者数が増加しており、医療体制のひっ迫も、事態をより深刻化させています。とはいえ、欧米等と比較すると依然として感染水準が低いうえに、当初遅れをとっていたワクチン接種も現在は堅調な進捗をみせています。さらに、自民党総裁選や衆院選に向けた新政策への期待の高まりも重なり、今後海外投資家に日本株が見直される見込みもありそうです。

重要 03 相次ぐ規制強化で、国民・投資家をも混乱させる中国・習近平政権

中国政府は、多くの国民が所得格差の拡大に不満を抱えていることを背景に、大企業や富裕層に対する規制を強化しています。直近では少子化対策の一環として、学習塾禁止令を打ち出すなど、政策はより一層激化する見通しです。こうした一連の規制強化は、国内外の投資家心理にも影響を与え、中国株のみならず他マーケットにも波紋が広がっています。同政府の動向からは今後も目が離せません。

9月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(水)	日本 	法人企業統計 (4-6月期)
3日(金)	米国 	雇用統計、ISM (サプライマネジメント協会) 非製造業景況感指数 (8月)
9日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
15日(水)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資 (8月)
15日(水)	米国 	鉱工業生産指数 (8月)
16日(木)	米国 	小売売上高 (8月)
17日(金)	日本 	自民党総裁選告示 (29日開票)
22日(水)	日本 	金融政策発表
22日(水)	米国 	金融政策発表
30日(木)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高、住宅着工件数 (8月)

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。